



Letters

レターズ / 加入者や保護者の皆さんから寄せられたお便りをご紹介します。

愛知県

W・N さん（加入者） W・A さん（母）

♡加入者さまより

お金ありがとうございました。とっても助かっています。
私は現在、高校に入学して楽しく生活をしています。
いただいたお金は大学に入るため貯めています。今
回は本当にありがとうございます!!

♡お母さまより

橋本給付金をいただき、誠にありがとうございます。
給付金は子どもの夢のために使わせていただきます。
感謝感謝！

福岡県

A・K さん（母）

息子が中学卒業 この春いたします。図書券、給付金、
ありがとうございます。

息子が小3(9歳)の時に主人を亡くし加入させて
いただきました。今まで支えてもらい、息子とともに感謝
の気持ちでいっぱいです。

橋本むつさんのお気持ちもありがとうございます、息子と2人
で語り合っています。いつか恩返しできたらと息子も
話しています。ありがとうございます。

福岡県

K・Y さん（母）

いつも大変お世話になります。

早いもので、上の子も高校に進学できることとなりま
した。お祝い金や図書カード、本当に助かっております。
まだ下の子は小学生なので、心配は尽きませんが…。
いろいろとありがとうございます。

富山県

S・M さん（母）

いつもお世話になりありがとうございます。

この度は、娘の高校入学に際しお祝い金をいただき
誠にありがとうございます。

昨年9月、進路を決定しなければいけない時期に
主人を亡くし、音楽コースへ進学しようとしていた娘
はあきらめて普通科へ進路変更をしようとしました。
しかし娘の音楽への思いや夢をあきらめさせるのは親
としてさせてはいけないと思い、当初の希望通り音楽
コースのある高校へ進学しました。音楽漬けの毎日で
とても楽しく高校生活を送っています。

ご支援くださる皆様のおかげと日々感謝の思いで
いっぱいです。今後とも、何卒よろしくお願ひ申し上
げます。

神奈川県

I・N さん（加入者） I・M さん（母）

♡加入者さまより

長年育成給付金のご支援をいただきまして、誠に感謝
しております。私は将来、臨床検査技師になり、検査
をして患者さんの病気の早期発見、治療に貢献できる
ようになりたいと思っております。そのため、給付金
のご支援をいただき、臨床検査技術学科で学んでおり
ます。給付金のご支援のおかげで現在は学業に専念
することができています。

最後になりますが、給付金をくださったすべての方々に心よりお礼申し上げます。

♡お母さまより

上の子が3歳、下の子が1歳半で父親を亡くし小さ
かったので父親の記憶が全くありません。今回19歳
の誕生日をもって基金からの巣立ちとなり、感謝の
気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

鹿児島県
M・Uさん（加入者） M・Tさん（母）

♡加入者さまより

父が亡くなった時、私は小学校4年生でした。今春、高校を卒業と同時に基金も給付完了となり、長いようであっという間の9年間だったと思います。父が亡くなった時、医師になることを心に決め地元の私立中高一貫校に入学し卒業できましたのは、この基金のおかげでした。本当にありがとうございました。現役での入学はかなはず、現在は予備校に通っていますが、今年度は必ず入学し、皆様の善意に報いることができるよう頑張ります。

♡お母さまより

長男の支援を長いこと行ってください、ありがとうございました。主人が突然亡くなり、必ず来る明日はないのだと、私もいつどうなるかわからないと恐怖し、子どもたちを中高一貫で進路に丁寧に対応してくださる学校に入学させました。

主人が存命中、「将来どんな職業に就いても構わないけど、それにしかなれなかったという人生を歩まないよう、子どもたちは将来職業の選択ができるよう、しっかり育てよう！」と言っていた言葉を指針に育てきました。中学から2人とも学費と寮費等、金銭的に苦しい時もありましたが、こちらの基金の助けがあり何とか長男も高校卒業できました。ありがとうございました。

現在長男は一浪中ですが、今年度頑張って志望校に入学できることを信じて支えてゆきたいと思います。

山口県
H・Yさん（加入者）

絵を描くことが好きなので、ずっとほしかった画材や、今年は受験生なので文房具を買わせていただこうと思います。最近の文房具は性能が上がっているなどということもあり、一つ一つの文房具がとても高く、少し手が出しにくかったので、これを機に新調しようと思います。

この度は、給付金を送ってください、誠にありがとうございました。

埼玉県
Y・Aさん（加入者） Y・Tさん（母）

♡加入者さまより

今まで大変お世話になりました。現在、大学に進学し、勉学に励む日々を送っています。社会に貢献できる人材となれるよう、より一層努力してまいります。本当にありがとうございました。

♡お母さまより

これまでたくさんのご支援をいただき、無事に給付完了を迎えることができました。娘は現在、第一志望としていた大学に入学し、充実した学生生活を送っています。本当にありがとうございました。

新潟県
O・Nさん（母）

いつも「スマイルズ」を読むのを楽しみにしています。それが届くだけでも育成基金に加入して良かったと思っている中、今回、育成付加給付金をいただきありがとうございます。貯金、投資の方に使わせていただきます。

スマイルズの中では、体験談のコーナーが一番印象的です。どのように子育てをし、どのように感じているのか参考になりますし、勇気づけられます。

自分も将来どのように今を語るのか…。ぜひ明るく豊かな気持ちで語れるように取り組んでいきたいです。そしてその時、今度は助けることができるよう恩返しができるようにしたいと思います。



みんながとなりに寄り添う
「もう一つ」の Letters

今回は、当基金を卒業されてから今年で11年目となるNさん(61歳)にお話を伺わせていただきました。Nさんは、今から28年前、ご長女が6歳とご長男が3歳の時にご主人を亡くされました。以来、実家の両親や義父母、周囲の方たちの温かな支援と見守りを受けながら、無事にお子さんたちを育てあげました。事故に遭われてからこれまでの日々を振り返りながら、現在の想いをお聞きしました。

第16回 保護者体験談編

大阪府在住 2人のお子さんを育てあげた Nさんの場合

夫が事故に遭ったのは、1998年の夏の夕暮れどきでした。子どもたちに夕食を食べさせて、これからお風呂に入れようと思っていた矢先に病院から「夫が会社からバイクで帰宅途中に、自動車と衝突して入院した」と知らせがあったのです。すぐさま病院へ駆けつけたのですが、夫は昏睡状態で、そのまま意識が戻ることなく、2日後に逝ってしまいました。あまりよくない状態なのだと私は思っていましたが、心の奥では何とかなるだろうと思っていましたが、亡くなつた直後は事実を受けとめることができませんでした。もちろん、とても悲しかったのですが、子どもたちはまだ幼くて、私は専業主婦でしたので、「この先どうなるんだろう。ここからどうやって生活していく…。なんでひとりで逝っちゃつたの」というような想いが、頭の中をぐるぐると渦巻いていたことを今でも覚えています。

■周囲の人々の温かな雰囲気に助けられました

当初は事故処理のためにしなければならないことがたくさんあって、一日一日を乗り越えるだけで精一杯でした。けれども、事故から半年後に双方の保険会社同士の話し合いで決着がつき、夫の勤めていた会社も積極的に労災の認定を出してくれまして事故処理を終えることができました。

現在に至るまで何よりありがたかったのは、実家の両親も義父母も健在で、子どもたちが大きくなるまで傍らにいてもらえたことです。親子3人で実家のある町へ引っ越しして暮らすことにしたのですが、その後、義父母も私たちが住む家の近くに引っ越ししてくれまして、私たち親子を支えてくれました。また、子どもたちを転園させた園長先生が私の中学生時代の部活の顧問だったりするなど、私たち家族の

ことを以前から知っている方々が周囲にたくさんいて、穏やかに見守っていただけたことも、とてもありがたかったです。

■自分を信じて、そのときいいと思う道を歩む

そんな温かな環境で育ったからだと思いますが、お陰様で子どもたちは明るく健やかに育ってくれました。私自身もそうした環境に身を置けたので、困難を乗り越えることができたのだと思います。特に、私の悩みや愚痴を聞いてくれながら、子どもたちと一緒に育ってくれた両親には、とても感謝しています。

事故からこれまでを振り返ってみると、あつという間に時間が経ってしまった気がします。先のことを考へてもどうなるかはわからないので、自分がそのとき一番いいと思った道を進んできただけですが…。もちろん失敗することもありましたが、自分が選んだ道なので後悔はありませんでした。私のこうした信条が、現在、基金に在籍している方々のお役に立てるかどうかはわかりませんが、生きるヒントに少しでもなったなら幸いです。

〈編集部より〉

Nさんは、現在、社会人となったお子さんと親子3人暮らし。「子どもが結婚したら別居するかもしれない」ことで、このかけがえのない日々を大切にしたいとのこと。また、「還暦を過ぎて、今後は体調不全も起りがちなので、子どもたちに迷惑をかけないように留意したい」ともおっしゃっていました。Nさんご一家の健勝を心からお祈り申し上げます。なお、当基金に対しては、「加入了ことでお金の心配をせず、気持ちに余裕をもって生活できた」という言葉を頂戴し、とても励みになりました。今後もスタッフ一同、より一層気を引き締めて取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いします。